

エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスによる分析

青木 仕
順天堂大学図書館

I. 【はじめに】

エボラ出血熱のウイルスが初めて発見されたのは 1976 年 6 月スーダンのヌザラという町である。最初に罹患した男性がザイールのエボラ川近くの出身であることから、このウイルス性疾患はエボラ出血熱と命名された。その後エボラは、アフリカ大陸で 10 回近く突発的に流行し、致死率は 50%~90%と非常に高い疾患である。そして、昨年 2014 年の爆発的な流行は記憶に新しい。WHO は 2015 年 3 月現在感染者約 2 万 4 千人、死者は 1 万人を超えたと発表した。今回世界中が注目しているエボラ関連の学術文献を基礎データとしてビブリオメトリックスの手法を用い分析する。

II. 【調査対象と方法】

エボラに関する文献の抽出には、PubMed では MeSH の Hemorrhagic Fever, Ebola を医中誌 Web ではエボラ出血熱と入力し検索した。調査日は、2015 年 2 月 25 日である。その結果、PubMed から 1,437 件、医中誌 Web から 206 件のエボラ文献が抽出された。それらを基礎データとしてビブリオメトリックスにより計量的に分析した。次に、論文タイトル中のフリータームをテキスト・マイニングにより用語間の関係をマッピングし提示した。

III. 【調査項目と結果・考察】

1. エボラ出血熱文献数の推移: 最初の文献は 1976 年に発表され、2014 年の大規模な流行に伴い、洋文献数も年間 350 件を超えていた。
2. 掲載誌上位ランキング: 洋文献は 400 誌が抽出され、1 位 J Infect Dis 113 件、2 位 J Virology 68 件、3 位 Lancet 58 件と続き、感染症、ウイルス学や総合医学雑誌などのインパクトファクターの高い雑誌が上位を占め、エボラに対する関心の高さが窺えた。
3. MeSH ターム上位ランキング: 384 タームが抽出され、1 位 Disease Outbreaks 180 件、2 位 Ebolavirus 68 件、3 位 Hemorrhagic Fever, Ebola 66 件と続いていた。
4. 被引用文献数上位論文ランキング: Geisbert, TW が執筆の論文が 1 位、3 位、6 位を占め、エボラ研究の中心的な研究者として抽出された。エボラの重要論文は J Infect Dis に掲載され、エボラ研究のコアジャーナルとして抽出された。
5. エボラ文献の論題中のフリータームをテキスト・マイニングにより、出現頻度の高い用語間の関係がマッピングし、Diseases, Fever, Virus が用語間のネットワーク中で中心の用語になっていることが視覚的に明示され、それらの関係が判明された。

V. 【参考文献】

青木 仕. AIDS 文献の計量的分析-NLM Literature Search を利用して-. 医学図書館 1986;33(4):327-37.